

2023年6月1日
第564号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)



北浦和公園に1200人が参加



デコレーションコンテストには外国人労働者も参加



県庁までパレード

第94回埼玉県中央メーデーが5月1日に開催され、埼玉春闘共闘・埼玉連17組合3地域組織、1争議団、18友好団体から約1200人が参加しました。
当日は天候にも恵まれ、パレード沿道の市民や、北浦和公園を利用している人から「今日はメーデーですね」「がんばってください」などの声が寄せられ、本部テントには親子連れが訪ねてきて「パレードに参加したいのですが、できますか」と相談にくるなど、参加者が元気になるメーデーとなりました。
パレード終了後には、埼玉県と埼玉労働局にメーデー実行委員会としての要請書を渡し、懇談も行いました。
各地域メーデーは、前夜祭含めて20地域21会場で開催され、埼玉中央メーデーとあわせて4700人が参加しました。
(地域メーデーは4面に掲載)

久しぶりの北浦和公園での開催
第94回埼玉県中央メーデー



抽選会も実施

紙面から

- 第94回埼玉県中央メーデー (1面)
- 西部地区協キックオフ (5面)
- 県要請・労働局要請 (2面)
- 平和ツアー (3面)
- 地域メーデー・中央行動 (4面)
- 埼労共のページ (8面)

労働者と住民の暮らしを守るため 埼玉県と労働局に要請行動

メーデー実行委員会として毎年行っている県への要請と労働局への要請を今年も実施しました。

5月1日当日が月曜日だったため、久しぶりに県要請も労働局要請も当日の午後に行えました。

県要請には、メーデー実行委員会から、新島実行委員長、北村(埼教組)、小沢(埼高教)、西口(自治労連)、斉藤(埼玉土建)、宇佐美(年金者組合)、前島(さいたま地区労)の各副実行委員長が参加し、要請書の提出と



埼玉県との懇談

30分の懇談を行いました。

要請内容は、①医療・検査体制及び公衆衛生体制の強化、医療機関等への財政支援強化。②大規模な自然災害などによって被災し生活困窮者や事業継続困難者に対して、再建に向けた迅速な相談と支援。③「非正規雇用対策及び働き方改革に関する共同宣言」を踏まえ、非正規雇用の処遇改善および正規雇用。④ケア労働者を始め、公契約で働く労働者の賃金を直接改善する施策の推進。⑤憲法で保障されている義務教育にかかわり「学校給食の無償化」のための財政支援。⑥住民の権利を侵害する恐れがある自治体DXは、目の効率的にとられず、住民合意、住民の権利保障・利便性と行政サービス向上に資するよ取り扱いの検討の6項目です。

埼玉労働局への要請は、泉田(JMITU)、宮本(医労連)、占部(コープネットグループ労組)、阿部(全国一般)、丸山(県国公)、泉田(国労)の各



埼玉労働局要請

副実行委員長と宍戸事務局長が参加しました。

要請内容の①労働契約法の無期転換ルールが適用される直前での雇止め防止など、労働者保護法制度が機能する監督指導体制強化、②憲法、労働基準法、最低賃金法などの趣旨を踏まえ、最低賃金の再改定をおこなうこと。③医療・介護・保育などに従事するケア労働者を始め、公契約で働く労働者の賃金を改善する施策を推進するよう検討すること。④非正規雇用の処遇改善および正規雇用への登用が進むよう役割を果たすこと。について意見交換しました。今後も、メーデーだけでなく、県や労働局に労働者保護施策の改正・拡充などについて要求していきます。

早稲田公園に265人が参加

第41回三郷地域メーデーが早稲田公園で行われました。休日ではない中でも、友好労組の東武バス労働組合の90人を筆頭に、7労組3団体1政党の参加で265人の参加でした。

主催者あいさつでは、松田議長が、コロナ禍で3年間の自粛ムードから、ようやく本来のメーデーに至ったことを歓迎しながら、大手の賃上げが実現しているが、中小や非正規の賃上げは不十分であること、大幅な物価高騰で、労働者・市民の生活が立ち行かない岸田政権の無策ぶりを糾弾し、憲法審査会での憲法改悪の急速な動きに対して、政治の流れへの監視も続けようと呼びかけました。

来賓あいさつでは、共産党の工藤市会議員が、入管法、軍拡財源法、マイナンバー法など、国民の生活を脅かす悪法が目白押しで、強行される危険があること、市民生活の面では、給食費の無償化への突破口を開きたいという決意も語られました。

その後、各労組・団体から決意

表明が行われ、それぞれの要求実現に向けたたたかいの概要と、これから1年間の要求実現への決意が熱く語られました。

そして、この間定着してきた「お楽しみ抽選会」を行い、閉会のあいさつでは、寺山副議長が「協立労組は、昨年比3倍の参加で65人に到達したこと、医療と介護のため大奮闘する決意していること」を述べ、元気に「ガンバロ」を全員で唱和しました。

その後、三郷駅までパレードを行い、参加者からは「結構長い行列でよかったね」などの声が聴けました。



三郷駅までパレード

大軍拡の危険を学ぶバスツアー

埼教組は、「専守防衛」の政策から「敵基地攻撃能力」を持つ大軍拡に走る岸田政権は、自衛隊基地をどうしようとしているのか、県内にある米軍基地がどう変わってきたのかを学ぶため、5月21日(日)に13人の参加で「平和バスツアー」を行いました。

当日は、米軍横田基地で、「日米友好祭」が行われていて、C2輸送機からパラシュート隊が降下

するところを目撃しました。まさに戦争準備の姿です。開設して1年2ヶ月経つ入間自衛隊病院は、市民を診療するためではなく、戦場で傷ついた自衛隊員の後送病院としての役割機能を持っているとのこと。塩川国会議員の調査時には活用状況はほほえないとのことでした。米軍所沢基地からは世界各地の米軍基地に



基地を間近に見学

4月に生協やコープデリ連合会の子会社に採用された大卒や高卒の新採者には、連日の研修の日程の中に「労組ガイダンス」があります。ガイダンスでコープネットグループ労組は、はじめに占部中央執行委員長から労働組合の目的と役割、労働組合の主人公は誰なのかについて語りました。

労働組合は労働者一人ひとりが自分の暮らしを豊かにしていくために存在していて、自分の暮らしを良くしていくとする時に、一人ではできないことを協力し合ってやっていくためにあることを伝えました。

そのうえで3点について解説、1つは働く人の雇用を守り、労働条件を維持・改善していくこと、2つ目に、みんなが人間らしい生活ができる社会にしていこうとあり、社会保障や税制度の改善などが具体的な課題であること。3つ目は、戦争や暴力がない平和な世界を実現することです。

いまウクライナで戦争が起きて

労働組合の役割と楽しさ語る

コープネットグループ労働組合

コープネットグループ労働組合は、一刻も早く終わるようアピール行動をしたり、人道支援募金を集める取り組みを紹介しました。これは世界中の人々の人権を守り、平和な世界を創っていくための取り組みです。そして最も大切なことは、労働組合の主人公はみなさん一人ひとりだということとを伝えました。

数カ所で開催した労組ガイダンスで、組合役員からは、昨年採用された仲間が集まって3月18日に開催した「ヨコでつながろうBBQ企画」の報告などを行い、同期の仲間がつながり今後の労組活動へ気軽に参加できるように、楽しい企画や参加しやすい交流会の持ち方などを提案しました。

次世代の仲間が労働組合の主人公として積極的に労組活動に参加し、自分たちの暮らしや職場・社会を良くしていき、平和な世界の実現のために、ともに活動していきたいと思えます。

また、労組未加入のパート・アルバイトの人たちには、23春闘でのベースアップの報告などを記載したお手紙を個別配布し、労組加入のお誘いを続けています。もちろん、職場での仲間を誘う活動も継続し、組織強化につなげていきます。



労組ガイダンスで対話

各地域でもメーデーを開催 全体で4700人が参加

秩父地区

第94回秩父地区メーデー前夜祭が4月28日(金)午後6時30分から、けやきフォーラム会議室で開催され、8団体81人が参加しました。



81人が参加 (秩父)

今回は趣向を変えて学習中心の前夜祭とし、アフガニスタンで亡くなった医師・中村哲さんドキュメンタリーの視聴をしました。参加者から「たまにはこういう企画もいいね」という感想がありました。近年にない多くの参加となりました。

したが、秩労連加盟組織すべてからの参加にならなかったのは残念でした。

北足立南部地域

北足立南部地域メーデーが5月1日(月)、4年ぶりに朝霞中央公園で開催され、晴れた5月の青空のもと23団体266人が参加しました。

集会前にメーデー歌が高らかに流れ、主催者あいさつで松本実行委員長が「物価高騰に追いつく賃上げを実現しなければならぬ。賃金の大幅引き上げ、物価高騰から暮らしと営業を守り、大軍拡、大増税はNO! 憲法9条を生かした外交で平和の実現——この要求で団結と連帯を強め広めていこう」とあいさつしました。来賓は、市民が野党をつなぐ埼玉4区の会共同代表の大野良夫さん、木下・中央労金朝霞支店長のほか、日本共産党国会議員のメッセージを朝霞の市議が代読と朝霞4市の議員を紹介しました。



朝霞駅までパレード (北足立)

その後、活動報告では、新座生健会、埼玉土建朝志和支部、理研労から1年間の闘いが話され、特に理研・金井委員長が理研の雇い止めの闘いでは、「みなさんの支援で雇い止め対象者380人に対して196人が4月以降も理研での職が繋がった」とお礼の報告がありました。1分間スピーチは、朝霞年金者組合、朝霞9条の会、新座学童、新座年金者組合、新座共産党、埼玉土建新座支部、志本年金者組合、新座市職員組合の8団体が元気に報告しました。スローガン提案、集会宣言の提案と採択。青年のコールで「団結頑張ろう」を行い、朝霞駅まで元気づくデモ行進を行いました。

深谷寄居地域

深谷寄居地域メーデーが5月1日(月)午前9時30分から深谷城址公園を会場に、11団体95人が参加して行われました。



商店街をパレード (深谷)

会場となった深谷城址公園は7年前から地域のイベントの都合で使用できなくなり、会場を変更せざるをえなかったのですが、今回は使用できることになりました。

会場からのデモコースが商店街や市役所前を通るコースに戻ったことで地域にアピールでき、平日の開催で参加者が少なくなるかと心配しましたが、まずまずの参加があり良かったです。

所沢集会

第94回メーデー所沢集会が5月1日(月)午前10時から、航空公園野外ステージで開催され、23団体220人が参加しました。



220人が参加 (所沢)

来賓では日本共産党から城下県議会議員と4人の市議会議員が参加、城下県議が代表であいさつしました。

その後は20団体の代表から、各団体の取り組みや今後の決意表明がありました。最後は「合唱団きぎゅう」の仲間を中心に「がんばろう」をはじめメーデー歌3曲を合唱、市川・地区労議長の声頭で「団結がんばろう」を三唱して終了となりました。

ハイキングとバーベキューで交流 西部地区協次世代キックオフ行事

西部地区協議会次世代キックオフ行事実行委員会は、好天に恵まれた4月23日(日)、飯能市市民会館前に集合し、天覧山(197m)・多峯主山(270m)・吾妻峡のハイキング(写真⑤)と飯能河原でのバーベキュー交流会(写真⑥)を開催し、5地域から41人(大人24人、子ども17人)の家族連れが参加しました。



ハイキング(吾妻峡)

午前9時に飯能市民会館近くの広場に集合、ほぼ同じコースを歩いた飯能日高地労連からハイキングのコース、楽しみ方、注意点などを話してもらい、ストレッチ体操をして9時15分にスタートしました。暑くもなく、寒くもない気温だったので、10〜15人が1チームで歩き、3チームに分かれて快適にハイキングを楽しみました。未就学児もいましたが、大人たちが一緒に歩きつつ、ときに肩車しながらのハイキングでした。

ゆっくり歩いたので、午後1時からのバーベキュー会場には午後1時過ぎに先発隊が到着、最終組は1時30分に到着し、子どもはジュースとお茶、大人はお茶やノンアルコールビールで乾杯、はじめに肉と野菜を焼き、最後は焼きそばでのシメになりました。

埼玉連から入間東部労連議長で埼玉連幹事の大河内さん、埼玉連専従の渋谷幹事がハイキングに同行、竹嶋副議長、尾形事務局次長は地元・埼玉土建飯能日高支部長の柳戸さんといっしょにふもとに残り、バーベキューの準備をしました。



バーベキューで交流

この間、実行委員会は、コロナの感染拡大が広がっていた時期にもオンラインで実行委員会を開催し、昨年夏の会議で「感染対策をしながら、時期を決めて具体的な行事をやる」と次世代の仲間から意見が出され、「来春を目標に実施」を確認、具体化してきたものでした。ちょうど飯能日高地労連が11月6日に低山ハイクとバーベキュー交流会を今回とほぼ同じコースで開催したこともあり、「実行委員会としても飯能でやる」ということになったものです。

参加者からは、「家族連れで参加できて良かった」「またやりたい」という感想が届いています。

看護師の増員と賃上げ求め ナースウエーブ行動

埼玉医労連は5月14日(日)、「春のナースウエーブ行動」を4年ぶりに浦和を会場に25人の参加で開催しました。

まず、全労連・布施国際局長を講師に、「世界の労働者のたたかい」を学び、学習会終了後は浦和駅で宣伝を行いました。25分の方ナーション300束、署名(増員・最賃)セット200通を配布しました。

新型コロナウイルス感染症が日本で拡大してから4度目の春が来ました。新型コロナは終息していませんが、新型コロナウイルスの感染法上の分類は、5月8日から季節性インフルエンザと同じ2類から5類に引き下げられました。しかし、3年以上も続くコロナ禍で、すべての国民が必要とする医療を提供できる体制になったでしょうか。看護職員は増員され、働き方は改善されたでしょうか。

近代看護教育の母・ナイチンゲールは、「犠牲なき献身こそ真の奉仕」であり「構成員の奉仕の精

神にも頼るが経済援助なしにはそれも無力である」と述べています。つまり、看護師はプロの専門職なのだからプロとして処遇されるべきであり、働き手である看護師の無償の自己責任に期待するような医療や組織はだめだと言っています。

私たちは、引き続き夜勤の改善と大幅増員、大幅賃上げを求めていきます。そして、地域医療・地域社会が守られ希望が持てる、誰もが「8時間働けば普通に暮らせる」社会の実現を目指します。

(埼玉医労連発)



浦和駅で宣伝

11年連続で総目標を達成! 3236人が加入(埼玉土建)

埼玉土建の23年春の拡大月間は「新役員づくりと事業所対策を前進させ、組織のV字回復と新年度のスタートダッシュを成功させよう!」をスローガンに、4月最終日まで大奮闘が続けられ、11年連続の全県総目標達成となりました。最終到達は3236人、拡大率4・99%、目標達成率109・4%となり、28支部248分会(74・0%)が目標を達成し、「社会保険未加入問題の駆け込み加入があった2017年春の拡大月間」以来の大きな峰を築きました。青年部は目標308人に対し384人の到達(30支部が達成)、主婦の会は目標704人に対し790人の到達(32支部達成)となり、3年連続のトリプル達成となりました。

月間前半戦は22年度の組織建設のラストスパートとして位置づけ、奮闘しましたが、年度末現勢で実増を果たすことはできませんでした。しかしながら、日中事業所訪問を強化し、特定技能外国人

(JAC)など事業所要求に即した宣伝など、人の動く時期をとらえた積極的な事業所対策を行ったことで、新規雇用加入だけでなく、多くの技能実習生や特定技能外国人も組合に迎えました。さらに、多くの支部で「集まる・集める」取り組みを旺盛に行うなかで、仲間のつながりを再強化し、月間の成果だけでなく様々な分会の運動を評価し、仲間の行動参加を励ました。その結果、組織建設だけでなく、共済推進や次世代や新しい役員員の行動参加が進んだことは、埼玉土建にとって新年度に向けた大きな弾みになるとしています。

また、今月間では仲間の生活に一番身近な統一地方選挙勝利に向けた運動もあわせて取り組まれ、「人口拡大、出口選挙」を合言葉に、多くの仲間が岸田自公政権の問題点を語りながら、統一地方選挙の重要性を上げ、埼玉土建の要求をくみ取ってくれる地方議員を議会へ送り出しました。

新転任者歓迎で81人が加入

埼玉高教は4月3日を中心とした各分会の新転任者歓迎の「つどい合い・語り合ひ」の企画を通して、4月から5月1日まで81人の仲間が埼玉高教に加入しています。4月としての加入は80人で、昨年度77人を上回っています。埼玉高教は、この勢いを継続し、今年度こそ増勢を達成するために5月までの組織強化・拡大期間中に100人の仲間を迎えようと頑張っています。

健康で働くために
埼玉県は、労働者の健康のため「がん検診」の受診率向上を目指す

「がん検診」の受診率向上を目指す
「がん検診」の受診率向上を目指す

「がん検診」の受診率向上を目指す
「がん検診」の受診率向上を目指す

この間の仲間増やしの教訓は、「声をかけること」「埼玉高教の取り組みを伝えること」「要求に寄り添った対話」です。実際に「また同じ学年を組むことになって、思い切って声をかけたら5年越しで加入してくれた」「人事の取り組みを話して加入してもらった」などの報告がきています。新転任者歓迎グッズや臨対部ニュースなどを活用して対話を広げ、埼玉高教への加入を呼びかけようと奮闘しています。

また、組合員が語りあえる「くみあいcafe」を5月28日(日)午前10時から正午まで埼玉教育会館で開催します(ドリンク、お菓子付き)。4月からの新年度も2カ月経った時期に、授業のこと、生徒のこと、部活動のこと、初任研のことなどについて「悩んでいるのは一人じゃない!ホッと一息ついて語り合いませんか」と呼びかけます。

がん検診で先手を打つ!
早期発見が大切です。

がんにかかると 2人に1人
がんで亡くなる人 3人に1人

がん治療の決め手は、早期発見です。

がん検診はどこで受けられるの? 市町村や職場での検診があります。

ゲートキーパー研修動画のご案内

減少傾向にあった埼玉県内の自殺者は、令和2年6月以降増加に転じました。さらに、長引く新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰などにより、令和4年の埼玉県の自殺者は令和3年と比べて20歳代~60歳代までの幅広い年代で増加しています。

このため、埼玉県では自殺予防対策の一環として、ゲートキーパーの養成力を高める取り組みを行っています。

ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞き、必要な支援に繋ぎ、見守る人のことで、特別な資格は必要ありません。

埼玉県では県民の皆様へゲートキーパーの役割を担っていただくことで自殺予防につながる「ゲートキーパー研修動画」を作成しました。

職場のメンタルヘルスマッチングにも活用いただけるので、ぜひ御視聴ください!

タイトル ○ 「悩みに気づく こそ受える ゲートキーパー」
視聴方法 ○ 埼玉県公式チャンネル (YouTube) URL → <https://youtu.be/YdFtHmTMY>

埼玉県 ゲートキーパー研修動画 QRコード

もうひとつご案内
ひきこもりの方への支援に関する動画を作成しました。ご活用ください!
タイトル ○ 「ひきこもり支援団体連携の活動動画(団体連絡給付システム)」
視聴方法 ○ 埼玉県公式チャンネル (YouTube) URL → <https://youtu.be/7y0t-4VAGw>

令和5年4月 埼玉県保健医療部 疾病対策課
TEL: 048-830-3565

6月の上映案内



埼玉映文協の6月の上映は「ブータン山の教室」です。

標高4800メートル、ブータン北部の秘境の村で、文化や伝統を守りながら素朴な暮らしをする姿を通して、「本当の豊かさとは何か」を教えてください。

日時 6月27日(火)

① 10時30分～12時25分

② 14時～15時55分

③ 18時30分～20時25分

場所 埼玉会館 小ホール

埼玉共専用入場整理券の利用で900円でご覧いただけます。



再上映決定!

時の行路

いすゞ自動車の派遣切りをモデルに、非正規労働者が人としての尊厳をかけてたたかいに立ち上がり労働者としての成長と仲間との団結を描いた感動作、映画「時の行路」の再上映が決まりました。

石黒賢さん、中山忍さんらが出演しています。上映開始は2020年でコロナ禍により上映運動が拡がらず、見逃した方も多いのではないのでしょうか。

10月19日(木) 埼玉会館小ホールで1日3回の上映予定です。

埼玉共では、これまでの扱いと同様、組合員とその家族について、埼玉共が事前に用意する前売りチケットの利用で900円でご覧いただけます。

お問い合わせは山崎まで
048-8338-0771



暮らし応援

全6回のセミナー開催

「福祉共済セミナー」がはじまります!

まず公助(税金を国民生活に有効に使う)があつて、不足分を共助(福祉共済を活用する基本原則)を確認したうえで、「共済」や「労働者金融」を知るために、こくみん共済coop、ろうきんの担当者などを招いてセミナーを開催します。

セミナーは5回(全体像、子育て、住宅、退職準備、シニア)を予定しています。

第1回セミナーは、6月10日(土)の13時30分から、埼玉会館6C会議室(6月の幹事会終了後・Zoomによるオンラインでも視聴可)で行います。

埼玉共済福祉共済 第1回セミナー

福祉共済の活用方法や、税金の負担軽減など、暮らしに役立つ情報を提供します。

■ 暮らしに役立つ福祉共済セミナー

6月10日(土) 13:30~15:00 埼玉会館 6C会議室

セミナー内容	講師
1. 福祉共済の活用方法	共済会 代表取締役 山崎 隆
2. 労働者金融の活用方法	共済会 代表取締役 山崎 隆
3. こくみん共済coopの活用方法	共済会 代表取締役 山崎 隆
4. ろうきんの活用方法	共済会 代表取締役 山崎 隆
5. 福祉共済の活用方法	共済会 代表取締役 山崎 隆

恐竜パークのご案内

夏休みにピッタリのイベント「恐竜パーク」のお知らせです。見て、学んで、楽しめる恐竜シヨを割引価格でご案内です。

7月23日(日)
上尾市文化センター大ホール

- ① 12時
 - ② 15時
- ご希望の方は、直接オンラインズ

恐竜パーク

7月23日(日) ①12:00 ②15:00
上尾市文化センター 大ホール

全席指定 3,500円 → **3,000円**

【お申し込みはこちら】
03-3403-0155

今年も楽しむぞ恐竜シヨ

今年も楽しむぞ恐竜シヨ

今年も楽しむぞ恐竜シヨ

今年も楽しむぞ恐竜シヨ

プロモーション(東京03-3403-0155)にお申込みください。

申し込みの際「埼玉共の案内を見た」旨、お伝えいただくと割引価格の3000円でご利用いただけます。

(ただし数量に限りあり)

フードバンク

第85便

埼玉連の4月から5月にかけてフードバンク活動は第85便として、SUなどから寄せられた乾麺やカップヌードル、菓子類など2・3キログラムを5月10日(水)にフードバンク埼玉の窓口・埼玉労福協に届けました。



フードバンク第85便